

日本語学校の卒業生 受け入れへ連携協定

日福大と運営会社

日本福祉大（美浜町）は14日、外国人留学生の受け入れの推進を目指し、国内外で日本語学校を展開する「グローバルウィザス」（名古屋市中村区）と連携協定を結んだ。

協定では、同社の日本語学校の卒業生を日本福祉大で受け入れるなどして教育を支援し、その後の日本での就職や職場への定着を促す。

日本福祉大では、アジアを中心に、6学部に179人（4月1日時点）



協定書を手にする丸山理事長
（左から2人目）と鈴木社長
（同3人目）＝名古屋市中区の
日本福祉大名古屋キャンパスで

の留学生が在籍。同名古屋キャンパス（名古屋市中区）で開かれた調印式で、丸山悟理事長は「働きたい人の潜在能力を引き出し、高める教育がこれからは大切」と語った。

グローバルウィザスの鈴木貴之社長は「日本に来た留学生が名古屋で長く働ける仕組みをつくっていききたい」と話した。